

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年 1月 29日

保護者アンケート回収率82.35% / 下記の保護者評価は回収分での占める割合

事業所名：放課後等デイサービスなえどこ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準以上のスペースは確保している。重度、重心の児童が多く安全に過ごせるよう声をかけ合っている。開設当初から時間等によっては隣接の施設を借りよう連携している。	はい:92.86% わからない:7.14%	隣接の施設には障がい者用のトイレもあるため、今後も連携を取り、安全を優先に考えて取り組んでいく。
	2 職員の適切な配置	加配を取れる職員配置になっている。重度、重心の児童が多いため、サービス提供時間中の送迎はドライバーで対応できるようシフトを組んでいる。	はい:71.43% どちらともいえない:7.14% わからない:14.29% 職員がよく変わるので少し不安に。	現状のスタイルを継続できるように努める。新規職員への定着と安定した職員配置を目指す。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	隣接の施設と連携を取り、EVや障がい者用トイレ等の使用が可能になっている。事業所のトイレ前にもカーテンを設置して重心児のトイレや見守り等の対応を行っている。	はい:100%	今後も連携を取りながら状況に応じて相談や備品等の購入を検討し、安全に過ごせるよう努めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の環境整備、清掃、消毒、換気、加湿など適宜行っている。	はい:92.68% わからない:7.14%	安全点検等の実施に向けた準備を行い、安全に過ごせる環境の維持に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の支援等、直接利用者に関わる事については児発管中心に取り組んでいる。非常勤職員との共有が難しく、打ち合わせ時間を非常勤職員の出勤後に変更した。	/	打ち合わせ時間や会議時間等柔軟に対応し意見を取り入れていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2017年度からの継続課題。実施を検討していたが、新型コロナの影響で未実施。基準関係については法人内で内部監査を行っている。	/	早急に実施できるように計画を検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修案内は回覧または掲示するようにしている。法人独自のeラーニングシステムを活用している。	/	研修受講に向けた人員配置の工夫や事業所内でのケース検討や研修、グループ内の障害福祉サービス事業との研修や意見交換等の実施の検討を行う。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者の記した個人票(毎年度更新)と送迎時や面談、電話等で得た直近の状況等から課題の整理表を作成し、直接処遇職員の意見を取り入れながら作成している。	【設問1(保護者アンケート設問1より)】 はい:100%	「はい」の方が多いので、このまま取り組みを継続していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日常生活目標、個別活動目標、集団活動目標をそれぞれの実態と将来の生活を見据えて設定している。目標に応じて活動内容を工夫している。		「はい」の方が多いので、このまま取り組みを継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	コロナの影響で遅れる事があったが個人票や日々の記録、課題の整理表を基に作成、検討をしている。新規の利用児童は、実態把握のため2~3か月後に更新している。	【設問3(保護者アンケート設問2より)】 はい:100%	「はい」の方が多いので、このまま取り組みを継続していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別経過記録にも目標を記載し、常に意識できるようにしている。日々、意識しながら課題や活動を設定している。記録も目標に沿って残すようにしている。	(保護者アンケート設問3より) はい:100%	現状のスタイルを継続できるように努める。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	立案は、児発管および担当者が行っている。その後全体で確認し合っている。外出行事ができない状況になっている。	(保護者アンケート設問4より) はい:100%	現状のスタイルを継続できるように努める。職員が代わっても様々な立案ができるよう調整する。外出についてはゆとりを持って支援ができるように配置を整えた上で、コロナ状況が落ち着いたら実施できるよう検討する。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	それぞれ、基本のタイムテーブルは設けているが、天候や季節、下校時間等の状況に応じて臨機応変に対応している。		昨年同様に活動プログラムが固定しないようにこの方針を継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定する事で分かりやすく成長につながる事もある。同じプログラムでも飽きないように変化を付けたり、到達度に応じて適宜、課題や目標を変更している。		「はい」の方が多いので、このまま取り組みを継続していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	全体打ち合わせの時間を設け、前日の振り返りと合わせて実施し、情報の共有を図っている。		現状のスタイルを継続できるように努める。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	学校開校日は翌日の打ち合わせの際に、毎回振り返りを行い、情報の共有を図っている。学校休業日は当日に行っている。今年度途中より非常勤職員とも情報共有ができるよう、時間を変更している。		現状のスタイルを継続できるように努める。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	目標に沿った記録を残している。昨年度途中より月まとめを導入している。10月からは2ヶ月毎に実施している。		打ち合わせでの情報や記録、月まとめ等を基に評価、改善を実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者との情報共有は送迎時等顔を合わせた時等に行っている。また、希望家庭には家庭訪問等も実施している。児童については、「10」の記録や月まとめを基に課題の整理表を作成し、評価、見直しを実施している。		今後もこのスタイルを継続できるように努め、家庭訪問等の希望者には相談援助を実施したりする中で、より密に情報の共有を図っていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	開催時間等により調整が可能であれば児発管だけでなく直接処遇職員も参加するように体制等整えている。	現在の取り組みを継続できるように努める。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	緊急時の対応を含めて、法人グループ内で必要な連携を取っている。ケースによっては学校を含めたサービス担当者会議が開催され、可能な限り参加をしている。その他必要に応じて学校や保護者より情報を得ている。	今後も関係機関との連携を継続していくように努めると共に、日々の送迎時に学校や保護者との情報共有を継続して取り組んでいく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアやリハビリの希望者には主治医の指示書を基に対応している。一部、リハビリ希望者のリハビリに同行させてもらった。協力医療機関と協定を結び、連絡体制は取れている。	現在の取り組みを継続できるように努める。定期的に緊急時に備えた訓練が実施できるように計画を検討する。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	前年度までは同意を得られたケースについて児童発達や保育所等を訪問していたが、今年度についてはコロナの影響で実施できず。入学後については学校の迎え時や保護者を通じて情報共有を行っている。	保護者の意向を伺いながら、今後も要望があれば実施していく。また、児童の実態も見ながら必要に応じて調整をしていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	卒業児童の保護者には案内をし要望の確認をしている。昨年度は、保護者の希望なしとの事で実施せず。	今後も要望や児童の実態も見ながら必要に応じて調整をしていく。保護者の意向を伺いながら、学校や関係機関との連携を深めるよう努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修案内は回覧または掲示するようにしている。午後からの研修が多く、サービス提供時間と重なるため参加が難しい。	研修受講を促進できるように人員配置の工夫しながら勤務を調整をするように務める。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	決まった施設との交流はない。公園外出などの機会に間接的に接したり、空間を共有したりする機会はある。	(保護者アンケート設問5より) はい:28.57% どちらともいえない:7.14 いいえ:28.57% わからない:35.71% (保護者アンケート設問5-2(事業所独自設問)より) はい:28.57% どちらともいえない:21.43% いいえ:35.71% わからない:14.29% 色々経験する事でいい刺激になるから。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	昨年度までは法人グループ内の介護施設を訪問して交流を行っていたが、利用児童の増加やコロナなどの理由で自粛している。		連携が途切れないようにし、職員体制やコロナの状況が落ち着けば再開を検討する。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用契約時に書面を基に説明している。変更が生じた際は、案内文を出している。負担額等については説明して同意を得ている。	はい:100%	現在のスタイルを継続できるように努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	可能な限り、本人にも同席してもらい、児発管から説明して、本人の同意も得ようとしている。	はい:100%	現状のスタイルを継続できるように努める。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	昨年度10月より希望家庭に対して家庭訪問等を行い相談援助を行っているが、コロナの影響で実施を控えている。	はい:64.29% どちらともいえない:7.14% わからない:28.57%	コロナの状況を見ながら再開を検討する。これまでと同様に、普段から気になる事等があれば連絡帳や送迎時などを活用してアドバイス等していくように努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を活用したり送迎時に話をしたりする中で、日頃の情報共有をしている。	はい:100%	現在のスタイルを継続し、家庭訪問等の場を活用しながら、より詳しく情報を共有できるように努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	昨年度10月より希望家庭に対して家庭訪問等を行い相談援助を行っているが、コロナの影響で実施を控えている。悩み相談等があれば誠意をもって対応している。	はい:92.86% わからない:7.14%	現在のスタイルを継続し、家庭訪問等の場を活用しながら、より詳しく情報を共有したり適切な助言をしたりできるように努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	(設問6より) はい:14.29% どちらともいえない:14.29% いいえ:50.00% わからない:21.43% (設問6-2(事業所独自設問)より) はい:14.29% どちらともいえない:28.57% いいえ:50.00% わからない:7.14% 人とコミュニケーションを取るのが苦手なため。	今後もニーズを調査しながら検討をする。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応体制については契約時に説明している。苦情が出た場合には早期に解決するよう対応をしている。	はい:71.43% わからない:28.57% 保護者から苦情があったのか分からない。今のところ苦情はないので分からない。	今後も、苦情が出た場合には早期解決ができるように努める。また、全職員間で情報を共有し再発防止に努める。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童に対しては言葉の支援、サインの活用、イラストを入れる等配慮している。保護者へは連絡帳を活用し、必要に応じてローマ字で表記するなど配慮している。	はい:92.86%	現状のスタイルを継続できるように努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	通信の発行とホームページへのアップをしている。 配布時期やアップが遅れる事があったが、月1回のペースで発行している。	はい:100%	時期に遅れが出ないように継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書庫、事業所、施設全体の施錠に加え、取り扱いについては書面で同意を得ている。	はい:100%	今後も取り扱いには細心の注意を払いながら、現状のスタイルを継続できるように努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成済みだが、防犯マニュアルについては事業所の現状に合うように見直しが必要。	はい:100%	定期的に事業所の現状に即した内容になっているか見直しを実施するように努める。緊急時に備えた訓練やシミュレーションも定期的の実施できるように計画を検討する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年3回の実施を予定していたが、コロナや職員体制等の変更により遅れる事があった。	はい:100%	年間計画等へ盛り込み、定期的の実施できるようにする。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部への研修の参加はできていないが、法人内でのeラーニングシステムの活用し研修を行っている。		今後も法人内でのeラーニングシステムを活用して効率よく研修を進める。外部の研修にも人員配置を工夫しながら勤務調整をし、可能な範囲で研修の受講を促進していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	職員で検討し、必要な場合には保護者へ説明し、個別支援計画に記載し同意を得ている。また、更新の度に検討をしている。		今後も定期的に検討を行い、慎重に取り組んでいく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	全児童に対して書面で調査、確認をしている。必要に応じて書類の提出もしてもらっている。		今後も新規利用児童については必ず書面で調査、確認をし、在籍児童についても定期的に調査を行うようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成できている。 事業所内で情報を共有し、今後の対応策についても検討を行っている。		発生した場合は、今後も早急に作成をし、情報の共有と再発防止策の検討を早期に実施するように努めていく。